

竹取新聞

株式会社 カグヤ

東京都新宿区西新宿3-2-11

新宿三井ビルディング

2号館10階



第50版

理念と実践で
絆を結びます

平素より弊社の商品をご愛顧頂きましてありがとうございます。この新聞は、「子ども第一主義」の理念をカグヤクルーの日々の出来事からの内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

想いを語る

熊本県にある新明保育園様の理念研修にお伺いしました。園に携わる全ての先生方が一同に集い、園長先生からの言葉に耳を傾ける時間：そこで芽生えた感情は特別なものがありました。

普段なかなか聴くことのない「園のはじまり」について、そして、子ども・地域・先生方に対する想い、「こんな園にしていきたい。」という決意。飾らずに語る園長先生の姿勢と、思いのままに語られる一言一言は、聴いていた先生方のみならず、カグヤクルーの心にまで自然と届きました。

また理念を初めて「言葉」として打ち出し、共有する時間であったにも関わらず、参加された先生方には笑顔と頷きが多く見られました。それは今まで言葉にされていなかっただけで、先生方



創設からの理念が伝承されていきます。

感謝の気持ち



温かいお心を頂戴いたしました。

茨城県鉾田市の青山保育園様へお伺いしました。

園長の小松崎先生は子どもたち一人ひとりの発達を保障したい、保育園の役割とはなんだろうかと日々熱心に考える中で「子どもの発達を見守り、支援するために」と見守るほいくソフトを導入頂きました。

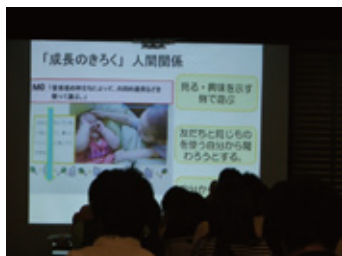
先日、サポートにお伺いさせて頂いた際には、現場の皆さんが1年で随分とソフトの基礎実践が進んでいることや、「子どもの評価」の為ではなく、自分達がど

んな環境を用意すればよいのかという「保育者の評価」の為に使うという事についての理解も深く、この1年間積み重ねてきたものがしっかりと結果として表れていることを体感させて頂きました。また、園長の小松崎先生も改めて、前年と比べて今を思い返し「確かに、去年を思い返せば随分と成長し、変わったね。本当はもっともっと職員を褒めてあげないといけないね。」と仰っていました。今だけを見るのではなく、子どもの発達に向き合ってきた経過や積み重ねてきたものに感謝し、「ありがとうね」と伝えたい、という小松崎先生の思いは、お茶菓子の中にも表現されていました。私達クルーも常に感謝の気持ちを忘れずにいたいと思います。

5領域を意識した保育実践

先日ギビングツリー（以下、G.T）主催の「第33回保育環境セミナー」で、埼玉県にある、いるま保育園様に実践発表をして頂きました。

園では子どもたちの発達を写真や動画を用いて共有されており、保育所保育指針の5領域を意識して、子どもたちの写真を撮り、次の保育に活かしていました。その際先生方が気を付けていることは1回目に見られた事象は撮らず、2・3回目と同じ様子が見られた場合



5領域と紐づけて写真を記録されています。

楽しみな実践です。私たちも実践から掴んだことを発信していけるよう、試行錯誤しながらより善いものを目指していきたいと思っています。また、今回の実践発表の動画はG.T会員サイトにて9月末より配信予定となっています。

CCN

Caguya Company News

カグヤニュース

※カグヤでは、クルー同士別々の場所においても、互いの気持ちや様子が共有できるよう、「カグヤニュース」という社内報を毎日メール配信しています。ここでは、その中から一部を抜粋して、日々の実践をご紹介します。



出発前、酵母菌に発酵祈願

いっています。考えていました。しかし、一緒に行ってみると、子どもたちは小さな掌で優しく材料を

子どもたちと発酵

学童の子どもたちと天然酵母のパンづくりをする機会を頂きました。子どもたちとのパンづくりでは、とても不思議な体験をさせて頂きました。私たちは最初、大きく力の強い大人の手の方が、パンづくりに向



お盆の後、飾った果物は皆で美味しく頂きました。

季節の室礼

先月はお盆ということで、社内の一にお盆の室礼（しつらい）が登場しました！

これまで自然の巡りと繋がりの中で生きることを大切に実践を行ってきましたが、もともと日本人の精神文化は自然と分かれてはならず、「心を季節の物に託して盛る室礼」の習慣があったそうです。

季節に合わせて、先人や客人への感謝の心を供する室礼から、自然とともに一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。

大豆を見守る

この夏から大豆の種を蒔き、自然農の方法で見守っています。

前回の小麦に続き、今回も会社だけでなく、自宅の庭やベランダのプランターで種を蒔き、見守っています。小麦の時は、雨水が入らない場所や、エアコンの室外機の前にプランターを置き、枯らせてしまったクルーもいましたが、今回は大豆の様子をみて、成長記録を付けながら環境を整えています。

それぞれ情報交換をしながら、改善をして、大豆の成長に立ち合っていきたいと思っています。



社内ガーデンの大豆。光の方へ伸びていきます



左：プランター 右：庭



上：材料と一緒に発酵



下：子どもたちが捏ねたパン

混ぜ、見事なパン生地を次々生みだしていききました。パンは全て自然の材料が合わさり、そこに人が加わって発酵していきます。子どもたちはこの材料の声を聞き、自然と一緒に発酵する力を持っているのだと感じました。変な力の入っている私たちはまだまだ修行が必要です！

夏季実践休暇

8月は例年「夏季休暇」を頂いておりますが、今年から「夏季実践休暇」と名前を改めました。この期間、クルーは各自の研究テーマを持って理念実践していきます。

毎日の内省では、その日起こった出来事の意味を振り返り深めています。ご縁を辿る、ミラクルジャーニー！



日本、海外…場所は様々。

一期一会庵

本物の味覚を育てる

先日、大阪で「食育の大家」と呼ばれているある保育園の園長先生が東京に立ち寄る際に来社してくださいました。

その園長先生から「食育」についてのお話の中で「本物の味覚を育てる」という園の理念や方針を拝聴していたらハッと初心に帰る思いが致しました。

その園では、食育とは「日々の積み上げ」にあるとし子どもだましの様な化学添加物などを用いず「子どもの舌には本物を」と厳選された食材を使った調理を37年以上も継続行っています。例えば「お出汁」ひとつでも、子どもの舌が本物なのだからと一切の手を抜かず日々食材の仕入改善等を続けているようです。

「子どもの味覚を育てる」ということは子どもの味覚に合わせた本物を与え続けるということ」という言葉に、本質的な食育とは何

すが、この特別な期間を使い、それぞれが普段はできない探究活動を行いました。

「先祖様や日本の古来ルーツを探る者や、自らの初心に向き合う者など」各々にご縁を辿り、深めることで、生き方・働き方を深く繋ぎ合わせる機会になりました。実践休暇を終え、改めて日々目の前の実践を大切にしていきたいと思っています。

「夏季実践休暇」の様子は、カグヤサイトのクルー日記でご紹介させていただきます。

編集後記

今月も竹取新聞をご覧頂きまして、誠にありがとうございます。

日々に流されず、一日一日頂く沢山の縁に感謝し、その意味をしっかりと受け止めていきたいと思っています。

季節の変わり目、これから行事も多くなる時期ですが、どうぞお身体に気を付けてお過ごしくださいませ。

カグヤは「子ども第一主義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます。

caguya
株式会社 カグヤ

本社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング2号館10階
tel.03-5909-7155
fax.03-5909-7199

カグヤウェブセンター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17
東京堂神保町第3ビルディング8階
tel.03-3518-6217
fax.03-3518-6218

☎フリーダイヤル 0120-917-389
URL: <http://www.caguya.co.jp>
E-mail: support@caguya.co.jp
受付時間 月～金 9:00～18:00
(土・日曜祝祭日を除く)